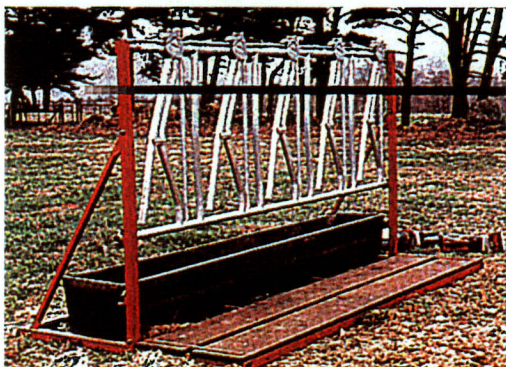


# 放牧場におけるセルフロックスタンションと 省力的人工授精技術

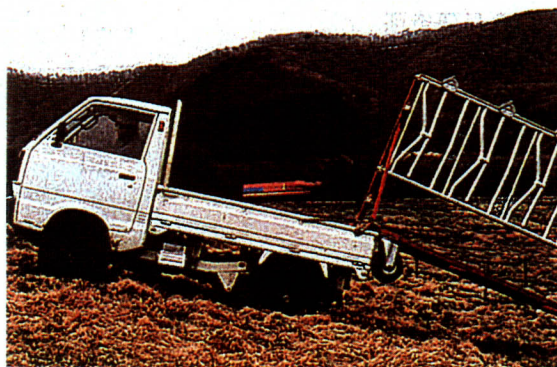
放牧場で人工授精をするために牛を捕獲しなければなりません。捕獲には人手と時間がかかることから、1人で簡単に捕獲出来る移動式セルフロックスタンションを開発しました。

4WDの軽トラックに積む事ができ、移動のための車輪も付いており傾斜地でも移動ができます。飼料を採食するため牛が寄って来たところを自動的に捕まえるので、人工授精を含めた様々な管理応用を省力的に行うことができます。

畜産試験場



沼尻支場で開発した「移動式セルフロックスタンション」は5頭捕獲可能で、従来法より作業人員1/5、作業時間1/7.5です。

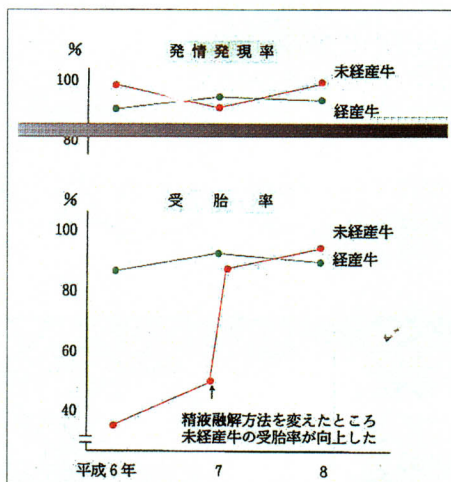


車輪を付設し、4WD軽トラックで傾斜地を移動しているところ。



捕獲しているところで、前肢がのっているため、押されても動きません。

並列捕獲なので、人工授精等の作業効率も良くなります。



発情同期化により、93%以上の牛が発情発現し、受胎率も85%以上に向上しました。